

2025年12月25日

報道関係者各位

ニュースリリース

株式会社セキュアスカイ・テクノロジー

セキュアスカイ・テクノロジー、国産EASM「Dredger（ドレッジャー）」の最新機能アップデート ～「REST API機能」と「リスクのステータス管理機能」をリリース～

安全なWebサイトを実現するために脆弱性診断とクラウド型WAFを提供する株式会社セキュアスカイ・テクノロジー（本社：東京都千代田区、代表取締役：大木 元、以下：セキュアスカイ）は、国産EASM（*1）サービス「Dredger（ドレッジャー）」の機能において、「REST API機能」と「リスクのステータス管理機能」を2025年12月にアップデートしました。

本アップデートにより、Dredger上のデータを外部システムと連携できるREST API機能が追加され、他サービスとの自動連携が可能になりました。また、リスクのステータス管理機能により、検出されたリスクを進捗状況に応じて管理できるようになり、より実務運用に寄り添ったリスクマネジメントを支援します。

*1：EASM（External Attack Surface Management）は、インターネットから攻撃可能な領域を管理するソリューションで、Webサーバ、ネットワーク機器、PCなどのエンドポイント端末、メール等のAttack Surfaceのなかでもインターネットから攻撃可能な部分に着目します。「ASM」と「EASM」は同じ意味として取り扱っています。

● REST API機能

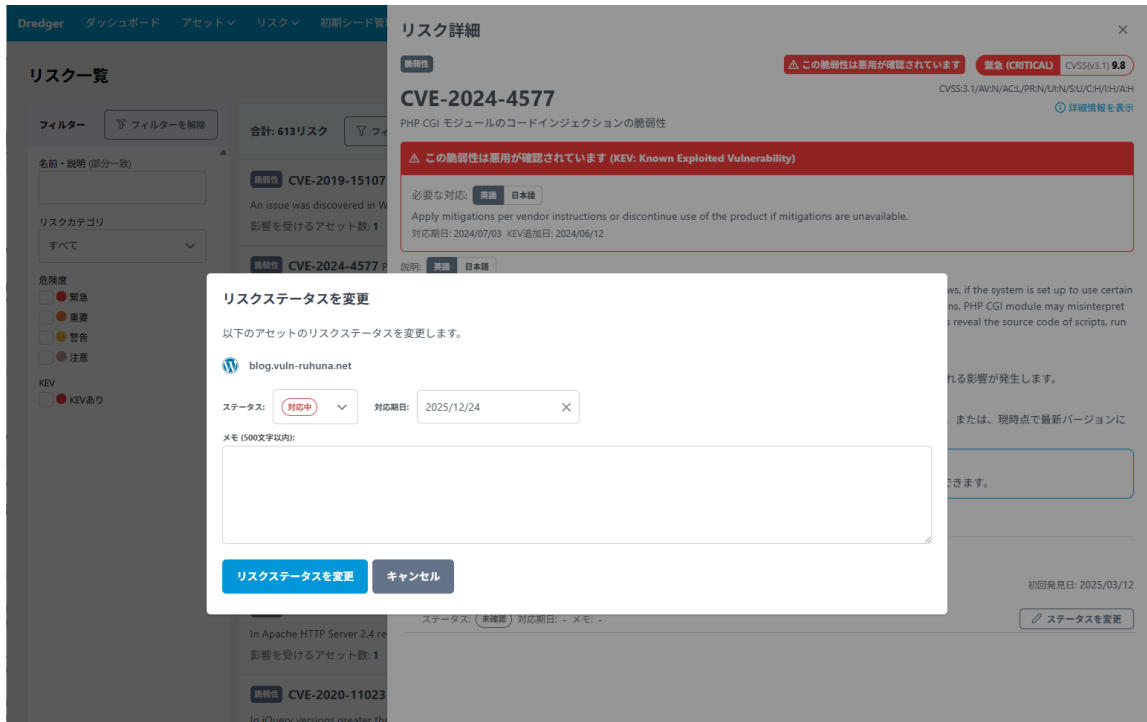
REST API機能により、スクリプト等による自動化や他システム・他製品との連携が可能となります。今回のリリースでは、下記のデータ取得系APIが利用可能です。今後も順次API経由で取得可能なデータや、操作可能な機能を拡充していく予定です。

対象データ：アセット一覧、アセット詳細、リスク一覧、リスク詳細

● リスクのステータス管理機能

検出されたリスクに対して、以下のステータス、対応期日、メモを追加し、管理できる機能を追加しました。

ステータス：未確認、保留、対応予定、対応中、対応完了、対応不要



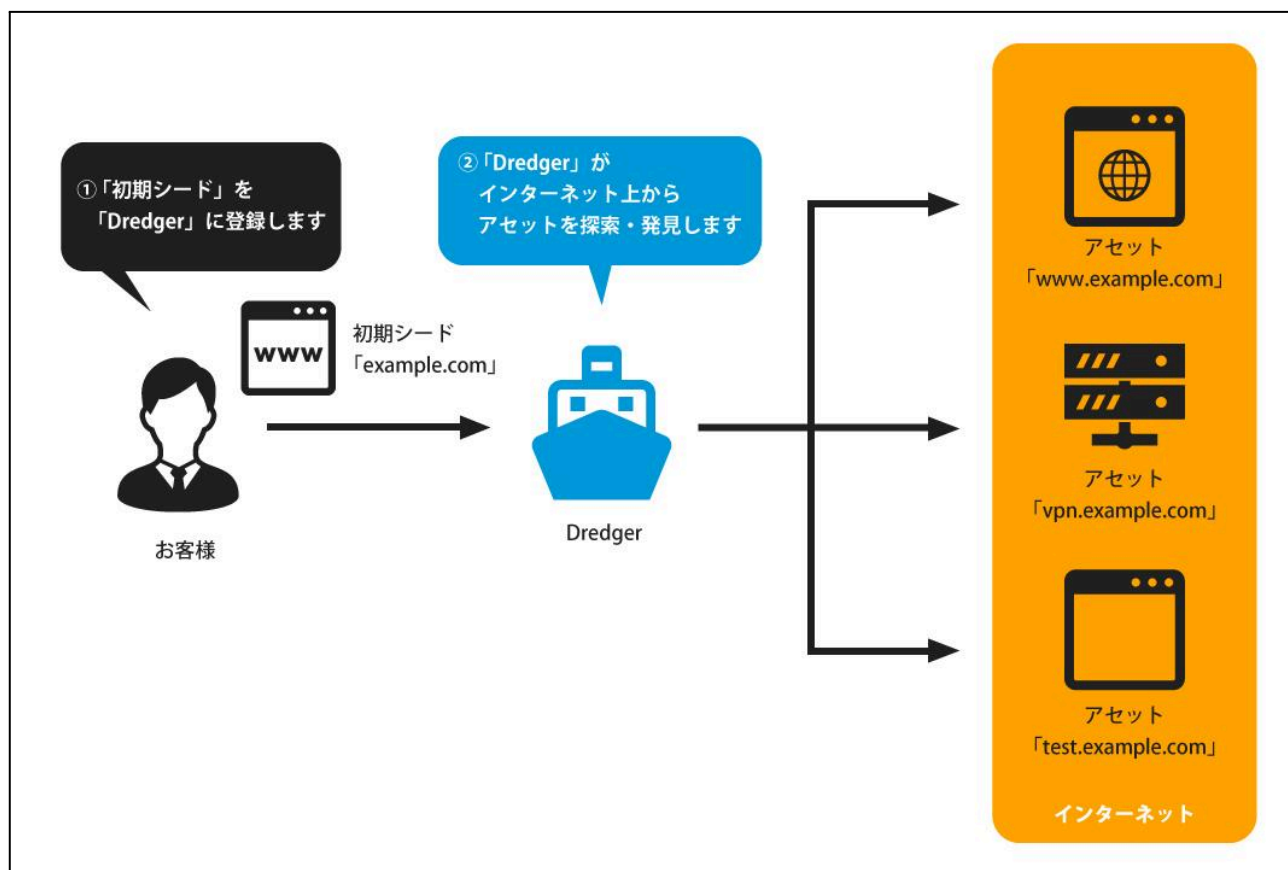
リスクステータス変更画面

セキュアスカイは、今後もお客様のセキュリティニーズに迅速かつ効果的に対応し、さらにサービスの改善と新機能の追加に努めてまいります。Webサイトを運営する企業・団体に対して、より安全なWebサイト運営への貢献を目指します。

● 国産EASMサービス「Dredger（ドレッジャー）」について

インターネットからアクセス可能なIT資産の情報を攻撃者視点で調査し、サイバー攻撃の入り口となりうるリスクをタイムリーかつ継続的に発見します。主な機能にはアセットの発見、リスクスキャン、アタックサーフェスの可視化・管理が含まれます。

サービス詳細：<https://www.securesky-tech.com/service/easm/>



お客様の組織に関連があると思われるIT資産をインターネット上から探索・発見

【株式会社セキュアスカイ・テクノロジー 会社概要】

セキュアスカイ・テクノロジーは「インターネットを安全にしたい」という想いを原点に、2006年に設立されたWebアプリケーションセキュリティの専門企業です。開発・運用の各フェーズに対して、セキュア設計・開発のための教育・支援サービス、脆弱性診断、クラウド型WAF「Scutum（スキュータム）」、国産EASMサービス「Dredger（ドレッジャー）」を中心にWebサイトの安全を一貫して守るWebセキュリティサービスを提供しています。

社名 : 株式会社セキュアスカイ・テクノロジー
本社所在地 : 東京都千代田区岩本町2-2-4 PMO神田岩本町II 10F
設立 : 2006年3月
代表者 : 代表取締役 大木 元
事業内容 : Webアプリケーションに特化したセキュリティサービス
・脆弱性診断サービス
・セキュリティ教育・支援サービス
・クラウド型WAFサービス
・EASM（ASM）サービス
・セキュリティコンサルティング、その他
URL : <https://www.securesky-tech.com/>



【お問い合わせ先】

株式会社セキュアスカイ・テクノロジー
広報担当 大倉 千代子（おおくら ちよこ）
E-mail : pr@securesky-tech.com
TEL : 050-5445-8822